

2023年5月29日

会社名 株式会社 パルセウスプロテオミクス
代表者名 代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉
(コード番号：4882 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員 管理部長 鈴木 信一
(TEL. 03-6264-8224)

第 118 回近畿血液学地方会にて PPMX-T003 臨床試験中間報告が行われました

2023年5月27日、大阪国際交流センターで開催された第118回近畿血液学地方会におきまして、当社が実施している抗トランスフェリン受容体抗体 PPMX-T003 の真性多血症 (PV) 患者さんにおける第 I 相試験 (以下「本治験」) の中間報告が行われましたのでお知らせいたします。

表題： 抗 Transferrin 受容体抗体 (PPMX-T003) の PV 患者における P1 臨床治験中間報告
抄録番号： 53
発表者： 関西医科大学 血液腫瘍内科 ○伊藤量基
大阪公立大学 血液内科・造血細胞移植科 高桑輝人、日野雅之、中前博久
株式会社パルセウスプロテオミクス 勝見恵子、松浦正

発表の概要：

- ① 本報告は、PV 患者さんにおける目標症例 6 例の治験の中間報告です。3 例目までの治験結果は、既に終了している健常人 (5 群、総数 40 名) の第 I 相試験の結果とほぼ一致するものでした。
- ② 3 例いずれも重篤な副作用はなく、健常人と同様の安全性が確認されました。
- ③ 症例 1 と症例 3 では PPMX-T003 を 0.25mg/kg で 1 回、症例 2 では 0.25mg/kg、0.4mg/kg、0.64mg/kg と投与量を漸増し計 3 回投与しました。3 例の患者さんは、治験に参加する前は 4 週間から 9 週間に一度の間隔で瀉血治療を受けていましたが、投与後は 12 週間に渡り、3 例全てで瀉血の必要がないことが確認され、治験が終了しました。また、PPMX-T003 の投与により、ヘマトクリット (血液に占める赤血球の割合) 及びヘモグロビン (血色素) が減少し、健常人での試験と同様に、赤芽球及び赤血球が減少する効果が確認されました。

その他、安全性についての詳細なデータや治療効果が期待できるデータも報告されました。以上のことから、PPMX-T003 は、赤血球が多すぎる疾患である PV に対し、有効な治療薬となる可能性が示されました。

【 本リリースに関するお問い合わせ先 】

株式会社パルセウスプロテオミクス 管理部

TEL: 03-6264-8224

e-mail: ir@ppmx.com